

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2011年4月1日から2021年3月3日まで	
運用方針	<p>①トルコの株式に投資し、信託財産の成長を目指します。</p> <p>②トルコ株式への投資にあたっては、収益性、成長性、安定性等を総合的に勘案して銘柄選別を行います。マザーファンドのトルコ株式の運用は、ユニオンバンケールプリヴェユービーピーエスエー（ロンドン支店）が行います。</p>	
主要投資対象	ライジング・トルコ株式ファンド	ライジング・トルコ株式マザーファンド受益証券
	ライジング・トルコ株式マザーファンド	トルコ株式（DR（預託証券）を含みます。）
主な組入制限	ライジング・トルコ株式ファンド	<p>株式への実質投資割合には制限を設けません。</p> <p>外貨建資産への実質投資割合は、制限を設けません。</p> <p>同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の15%以下とします。</p> <p>同一銘柄の上場投資信託証券への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の15%以下とします。</p>
	ライジング・トルコ株式マザーファンド	<p>株式への投資割合には制限を設けません。</p> <p>外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。</p> <p>同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の15%以下とします。</p> <p>同一銘柄の上場投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の15%以下とします。</p>
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p>	

ライジング・トルコ株式ファンド

最終期（償還日 2021年3月3日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「ライジング・トルコ株式ファンド」は、2021年3月3日をもちまして満期償還いたしました。ここに謹んで設定以来の運用状況と償還の内容をご報告申し上げます。今後とも当社商品につき引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。



SOMPOアセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル



<https://www.sompo-am.co.jp/>

お問い合わせ先



クライアントサービス第二部 0120-69-5432
(受付時間 営業日の午前9時～午後5時)

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	騰落率		株式組入比率	株式先物比率	投資証券組入比率	信託証券率	純資産額
		税金	分配					
	円 銭	円	%	%	%	%	%	百万円
16期(2019年3月4日)	5,740	0	35.2	93.7	—	—	0.7	1,731
17期(2019年9月3日)	4,914	0	△14.4	93.3	—	—	0.6	1,389
18期(2020年3月3日)	5,134	0	4.5	93.4	—	—	1.0	1,161
19期(2020年9月3日)	4,172	0	△18.7	96.7	—	—	0.7	853
(償還時)	(償還価額)	—	—	—	—	—	—	—
20期(2021年3月3日)	5,434.34	—	30.3	—	—	—	—	462

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 基準価額及び分配金は1万円当たり(以下同じ)。

(注3) 株式組入比率、株式先物比率および投資証券組入比率はマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注4) 株式先物比率=買建比率-売建比率。

(注5) 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、トルコ株式を主要投資対象とします。株式への投資にあたっては、収益性、成長性、安定性等を総合的に勘案して銘柄選別を行います。当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載していません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		株式組入比率	株式先物比率	投資証券組入比率	信託証券率
		騰落	率				
(期首)	円 銭		%	%	%	%	%
2020年9月3日	4,172	—	—	96.7	—	—	0.7
9月末	4,136	△	0.9	94.5	—	—	0.7
10月末	3,878	△	7.0	90.7	—	—	0.7
11月末	4,737		13.5	93.4	—	—	0.8
12月末	5,365		28.6	90.4	—	—	0.8
2021年1月末	5,471		31.1	—	—	—	—
2月末	5,437		30.3	—	—	—	—
(償還時)	(償還価額)						
2021年3月3日	5,434.34		30.3	—	—	—	—

(注1) 騰落率は期首比。

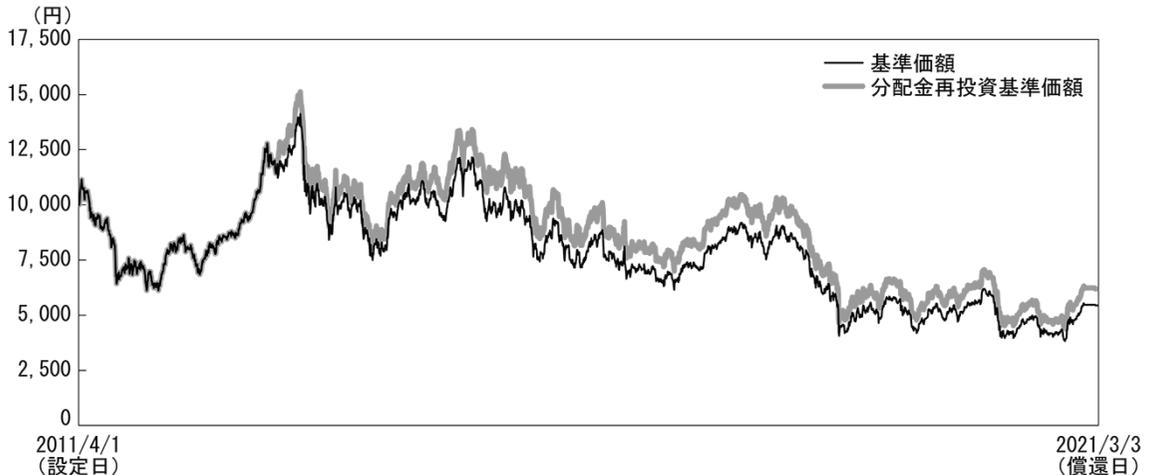
(注2) 株式組入比率、株式先物比率および投資証券組入比率はマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注3) 株式先物比率=買建比率-売建比率。

(注4) 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、トルコ株式を主要投資対象とします。株式への投資にあたっては、収益性、成長性、安定性等を総合的に勘案して銘柄選別を行います。当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載していません。

設定以来の運用経過（2011年4月1日（設定日）～2021年3月3日（償還日））

■ 基準価額の推移



設定日：10,000円

償還日：5,434円34銭（期中分配金合計1,450円）

騰落率：△38.1%（分配金再投資基準価額ベース）

- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、トルコ株式を主要投資対象とします。株式への投資にあたっては、収益性、成長性、安定性等を総合的に勘案して銘柄選別を行います。当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

■ 基準価額の主な変動要因

（ライジング・トルコ株式ファンド）

高位に組入れていたマザーファンドの基準価額が下落したため、当ファンドの分配金再投資基準価額は下落しました。

（ライジング・トルコ株式マザーファンド）（2011年4月1日～2021年3月2日）

期中の騰落率は-25.0%となりました。トルコリラが対円で下落したことが基準価額の押し下げ要因となりました。

■投資環境

2011年は、商品市況の調整を契機にグローバル株式市場が下落したことや、トルコの消費者物価指数の高止まりや経常収支赤字拡大に対する懸念に加え、隣国シリアの政情悪化、ギリシャ債務再編問題などの悪材料が重なり、軟調な展開となりました。

2012年は、1月末に、FRB（米連邦準備理事会）が超低金利政策を2014年後半まで継続すると示唆したことが好感され、上昇しました。その後は、トルコ国内の与信の伸びやインフレ率上昇の抑制、経常収支の赤字幅の縮小、米大手格付け会社のトルコ国債の信用格付けの引き上げなどを受けて上昇しました。また、世界的に金融緩和政策が打ち出されたことや、欧州債務懸念の後退なども好材料となり、年末にかけて当時の史上最高値を更新しました。

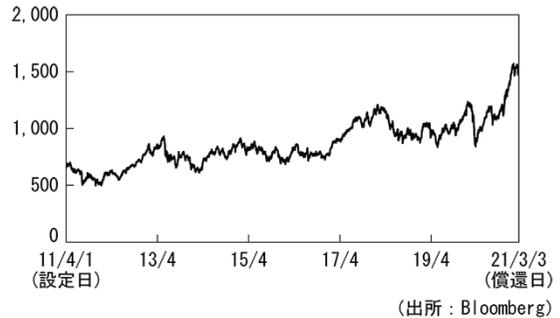
しかし、2013年5月下旬、FRBの量的金融緩和策の早期縮小懸念や、トルコのエルドアン政権への大規模な抗議運動が続いたことなどから、投資家のリスク回避姿勢が強まり、急落しました。その後も、トルコ中央銀行総裁による追加利上げ否定発言やシリア情勢の緊迫化などと相まって、トルコリラ、トルコ株式市場ともに更に下落しました。

2014年3月、トルコの統一地方選でAKP（公正発展党）が勝利したことを受け、政治的緊張の緩和期待などから上昇しました。その後も、トルコ中央銀行やECB（欧州中央銀行）による利下げ、原油価格の下落などを背景に、堅調に推移しました。

2015年は、ギリシャ債務再編問題の先行き不安や、トルコ政局の混迷懸念などを背景に下落しました。また、トルコ軍がロシア空軍機を撃墜したことを受け、ロシアがトルコに対し経済制裁を発令したことなども重石となりました。

2016年は、ECBの追加金融緩和政策の発表などを受け一時的に上昇しましたが、5月初め

イスタンブール100種指数の推移



為替レートの推移



にトルコのダウトオール首相の任期途中で首相職を辞任したことや、7月中旬に未遂に終わったもののトルコ軍の一部によるクーデターが発生したことなどから下落しました。また、11月には、トルコ警察当局がクルド系野党・HDP（国民民主主義党）の共同党首2人を含む同党の複数の国会議員を、トルコがテロ組織と認定している非合法武装組織「PKK（クルド労働者党）」の宣伝を拡散した疑いで拘束したことに加え、拘束直後に、トルコ南東部で大規模な自爆テロが発生したことなどから、トルコ株式市場は下落しました。

2017年は、4月に実施されたトルコの大統領権限を強化する憲法改正の是非を問う国民投票で賛成派が多数を占め、短期的な政治的不透明感が低下したこと、トルコ企業の堅調な決算発表や世界的な株高などに支えられ上昇しました。また、トルコ当局がエルドアン大統領と敵対する在米イスラム教指導者のギュレン師の支持者と接触したとして米総領事館に勤務するトルコ人職員を逮捕したことなどを理由に10月に停止された米国とトルコ間のビザの発給業務を、両政府が正常に戻すと発表したことなどから、年末にかけてさらに上昇しました。

2018年に入ると、エルドアン大統領が金融政策への関与を強めると発言したことや、トルコ中央銀行が市場の利上げ予想に反し7月の政策金利を据え置いたことで中央銀行の独立性が不安視されたこと、6月の大統領選挙では、現職のエルドアン大統領が再選を果たしたものの新内閣の国庫・財務相に娘婿のアルバイラク前エネルギー相を起用したことが嫌気されたこと、8月に米国人牧師の拘束問題により対米関係が悪化したことなどを背景に、トルコリラ、トルコ株式市場の下落が加速しました。2019年3月末に行われた統一地方選挙では、エルドアン大統領が率いるAKPを中心とした与党連合がトルコ全土の得票率で過半数を確保しました。しかしAKP側が求めていたイスタンブール市長選挙の無効とやり直しの決定を受け、トルコの政治プロセスに不信感が高まり、トルコリラ、株式市場ともに下落しました。その後は、原油価格の下落や、対米関係の緊張緩和期待などを背景に反発しました。

2020年に入ると、シリアとトルコの緊張の高まりに加え、アサド政権を支援するロシアとの関係悪化なども懸念され下落しました。さらに、世界中で感染拡大が止まらない新型コロナウイルスが世界経済に及ぼす影響への警戒感からリスクオフムードが強まる中、トルコリラ、トルコ株式市場ともに大きく下落しました。4月以降は、米国の経済活動再開への期待や、新型コロナウイルス向けのワクチン開発の進捗が良好であることを受けてグローバル株式市場が上昇する中、トルコ株式市場も上昇に転じました。しかし、トルコの外貨準備減少が懸念される中、トルコリラが売られ対ドルやユーロで史上最安値を更新したことなどを嫌気し、トルコ株式市場は下落しました。11月上旬、中央銀行総裁と財務相が交代し新体制となったことを受け、金融当局がトルコリラ安の是正に向けて動くとの期待感などから、トルコ株式市場、トルコリラともに大きく上昇しました。その後の金融政策委員会では、大幅な利上げとともに、金融政策の簡素化が発表されたことから、トルコ株式市場、トルコリラともに続伸しました。しかし、2021年2月下旬以降、米国の追加経済対策の成立期待や、新型コロナウイルスのワクチン普及に伴う景気回復期待などを背景に、長期金利の上昇（価格は下落）が続く中、利益確定の動きや、原油市場の大幅上昇を受けてトルコの経常収支が悪化するとの懸念が広がったことなどから下落に転じ期を終えました。

■当該投資信託のポートフォリオ

ライジング・トルコ株式マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。その後、当ファンドの満期償還に向けて、マザーファンドを全部売却しました。

(ライジング・トルコ株式マザーファンド) (2011年4月1日～2021年3月2日)

株式および外国投資証券の組入比率を概ね高位に維持しました。その後、当ファンドの償還決定を受けて、2021年1月上旬より保有銘柄を売却しキャッシュ化を進めました。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、トルコ株式を主要投資対象とします。株式への投資にあたっては、収益性、成長性、安定性等を総合的に勘案して銘柄選別を行います。当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

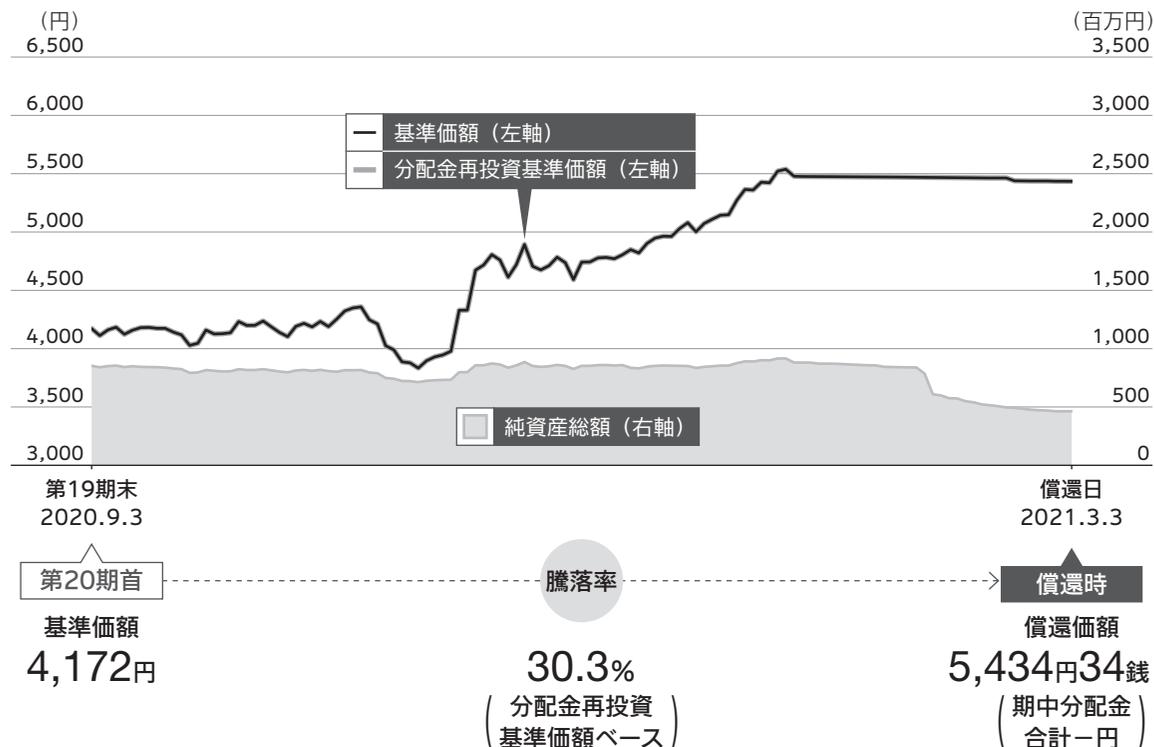
■分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、第1期～第3期は各0円（1万口当たり、以下同じ）、第4期は800円、第5期～第6期は各0円、第7期は300円、第8期は350円、第9期～第19期は各0円の合計1,450円の分配を行いました。

最終期の運用経過（2020年9月4日～2021年3月3日（償還日））

運用経過

● 基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額の推移は、2020年9月3日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、トルコ株式を主要投資対象とします。株式への投資にあたっては、収益性、成長性、安定性等を総合的に勘案して銘柄選別を行います。当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

ライジング・トルコ株式ファンド

高位に組入れていたマザーファンドの基準価額が上昇したため、当ファンドの基準価額は上昇しました。

ライジング・トルコ株式マザーファンド

期中の騰落率は+32.4%となりました。トルコ株式市場が上昇したことが基準価額を押し上げました。

● 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 投資環境

期初は、トルコが東地中海で海底資源探査を進める中、係争中の領海を巡り緊張が高まっていたギリシャとの緊張緩和に向けて、北大西洋条約機構（NATO）の事務総長が協議を行うことを明らかにしたことなどを好感し、堅調に推移しました。2020年10月、定例の金融政策委員会にて、トルコ中央銀行が市場予想に反して金利の据え置きを決定したことを受け、トルコリラ、トルコ株式市場とも下落に転じました。しかし11月上旬、中央銀行総裁と財務相の交代を受け、金融当局がトルコリラ安の是正に向けて動くとの期待感等からトルコ株式市場、トルコリラともに大きく上昇しました。その後の金融政策委員会では、大幅な利上げに加え金融政策の簡素化が発表されたことから、トルコ株式市場、トルコリラともに続伸しました。しかし、2021年2月下旬以降、米国の追加経済対策の成立期待や、新型コロナウイルスのワクチン普及に伴う景気回復期待などを背景に、長期金利の上昇が続く中、利益確定の動きや、原油市場の大幅上昇を受けてトルコの経常収支が悪化するとの懸念が広がったことなどから下落に転じ、期を終えました。

イスタンブール100種指数の推移



為替レートの推移



注. 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

● 当該投資信託のポートフォリオ

期を通してライジング・トルコ株式マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。その後、当ファンドの満期償還に向けて、マザーファンドを全部売却しました。

ライジング・トルコ株式マザーファンド

期を通して株式および外国投資証券の組入比率を概ね高位に維持しました。その後、当ファンドの償還決定を受けて、1月上旬より保有銘柄を売却しキャッシュ化を進めました。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、トルコ株式を主要投資対象とします。株式への投資にあたっては、収益性、成長性、安定性等を総合的に勘案して銘柄選別を行いますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

● 分配金

該当事項はありません。

決算期におけるファンドの運用成果[※]をもとに、分配を行うことを目指すファンドです。

※ 運用成果には、インカム収入とキャピタルゲイン・ロスの両方を考慮します。

インカム収入とは株式の配当収入等、キャピタルゲイン・ロスとは値上がり益・値下がり損をいいます。

・ ファンドに蓄積された過去の運用成果（分配原資）を加味する場合があります。

<償還を迎えて>

当ファンドは、2021年3月3日をもちまして信託期間を終了し、満期償還とさせていただくこととなりました。受益者の皆様のご愛顧に心より御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

● 1万口当たりの費用明細

項目	最終期 2020.9.4～2021.3.3		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	47円	0.971%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は4,837円です。
(投信会社)	(26)	(0.535)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(20)	(0.409)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	5	0.095	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(5)	(0.094)	
(投資信託証券)	(0)	(0.001)	
(c) その他費用	26	0.534	(c) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(26)	(0.533)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(その他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	78	1.600	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

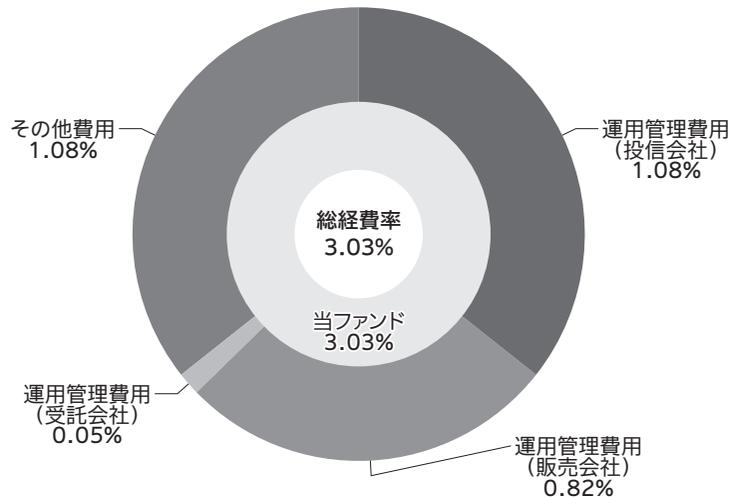
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は3.03%**です。



注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年9月4日～2021年3月3日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ライジング・トルコ株式マザーファンド	千口 -	千円 -	千口 1,490,811	千円 1,075,689

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 金額は受渡代金。

○株式売買比率

(2020年9月4日～2021年3月3日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	ライジング・トルコ株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,205,777千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	860,738千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.40

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注3) 邦貨換算金額は、各月末(決算日の属する月については決算日)の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

○利害関係人との取引状況等

(2020年9月4日～2021年3月3日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2021年3月3日現在)

2021年3月3日現在、有価証券等の組入れはございません。

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)
	口 数
ライジング・トルコ株式マザーファンド	千口 1,490,811

(注) 単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2021年3月3日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	476,973	100.0
投資信託財産総額	476,973	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2021年3月3日現在)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	476,973,960
コール・ローン等	476,973,960
(B) 負債	14,114,384
未払解約金	6,441,840
未払信託報酬	7,671,342
未払利息	1,202
(C) 純資産総額(A-B)	462,859,576
元本	851,730,575
償還差損金	△388,870,999
(D) 受益権総口数	851,730,575口
1万口当たり償還価額(C/D)	5,434円34銭

(注1) 信託財産に係る期首元本額2,044,988,825円、期中追加設定元本額3,063円、期中一部解約元本額1,193,261,313円

(注2) 償還時における1口当たりの純資産総額 0.543434円

(注3) 償還時における元本の欠損金額 388,870,999円

○損益の状況 (2020年9月4日～2021年3月3日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 10,939
支払利息	△ 10,939
(B) 有価証券売買損益	115,221,991
売買益	202,644,384
売買損	△ 87,422,393
(C) 信託報酬等	△ 7,671,342
(D) 当期損益金(A+B+C)	107,539,710
(E) 前期繰越損益金	△321,814,214
(F) 追加信託差損益金	△174,596,495
(配当等相当額)	(96,397,397)
(売買損益相当額)	(△270,993,892)
償還差損金(D+E+F)	△388,870,999

(注1) 信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) ライジング・トルコ株式マザーファンドの信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の60の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2011年4月1日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2021年3月3日		資産総額	476,973,960円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	14,114,384円
				純資産総額	462,859,576円
受益権口数	5,632,207,854口	851,730,575口	△4,780,477,279口	受益権口数	851,730,575口
元本額	5,632,207,854円	851,730,575円	△4,780,477,279円	1万口当たり償還金	5,434円34銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	6,606,611,822円	4,738,992,907円	7,173円	0円	0.0%
第2期	14,322,407,836	11,800,920,003	8,239	0	0.0
第3期	15,917,595,299	13,649,059,010	8,575	0	0.0
第4期	10,213,604,054	11,462,448,277	11,223	800	8.0
第5期	6,117,282,659	5,568,251,935	9,102	0	0.0
第6期	5,729,504,893	4,483,703,143	7,826	0	0.0
第7期	4,650,147,476	4,810,418,929	10,345	300	3.0
第8期	4,136,508,341	4,278,845,375	10,344	350	3.5
第9期	4,048,269,550	3,238,303,405	7,999	0	0.0
第10期	3,528,688,554	2,766,947,976	7,841	0	0.0
第11期	3,091,903,156	2,234,696,024	7,228	0	0.0
第12期	3,004,954,843	2,180,004,162	7,255	0	0.0
第13期	3,053,728,833	2,803,714,790	9,181	0	0.0
第14期	3,166,232,929	2,678,641,770	8,460	0	0.0
第15期	3,112,410,824	1,321,159,183	4,245	0	0.0
第16期	3,017,227,452	1,731,994,404	5,740	0	0.0
第17期	2,827,826,475	1,389,720,180	4,914	0	0.0
第18期	2,262,617,601	1,161,581,630	5,134	0	0.0
第19期	2,044,988,825	853,084,308	4,172	0	0.0

○償還金のお知らせ

1万口当たり償還金(税込み)	5,434円34銭
----------------	-----------

ライジング・トルコ株式マザーファンド

繰上償還 運用報告書

最終期（償還日 2021年3月2日）

＜計算期間 2020年3月4日～2021年3月2日＞

ライジング・トルコ株式マザーファンドの設定以来の運用状況と償還の内容をご報告申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2011年4月1日から2021年3月2日まで（当初、無期限）
運用方針	信託財産の成長を目指して、積極的な運用を行います。 運用にあたっては、トルコ株式等の運用指図に関する権限をユニオン バンケール プリヴェ ユービーピーエスエー（ロンドン支店）に委託します。
主要投資対象	トルコ株式（DR（預託証券）を含みます。）
主な組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。 同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の15%以下とします。 同一銘柄の上場投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の15%以下とします。

○最近5期の運用実績

決算期	基準 価額	期騰落		株 組入比 率	株 先物比 率	投 資 組 入比 率	信 託 券 率	純 資 産 額
		騰	落					
	円 銭		%	%	%	%	%	百万円
6期(2017年3月3日)	9,322	△	5.9	92.8	—	6.2	—	2,360
7期(2018年3月5日)	11,154		19.7	93.9	—	4.8	—	3,123
8期(2019年3月4日)	7,620	△	31.7	96.4	—	0.7	—	1,862
9期(2020年3月3日)	6,925	△	9.1	94.3	—	1.0	—	1,289
(償還時)	(償還価額)							
10期(2021年3月2日)	7,495.47		8.2	—	—	—	—	570

(注1) 基準価額は1万円当たり（以下同じ）。

(注2) 株式先物比率=買建比率-売建比率。

(注3) 当ファンドは、トルコ株式を主要投資対象とします。株式への投資にあたっては、収益性、成長性、安定性等を総合的に勘案して銘柄選別を行います。当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 式 組 入 比 率	株 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
		騰 落 率	率			
(期 首) 2020年3月3日	円 銭		%	%	%	%
	6,925	—		94.3	—	1.0
3月末	5,423	△21.7		95.2	—	0.9
4月末	5,756	△16.9		95.7	—	0.5
5月末	6,075	△12.3		97.8	—	0.6
6月末	6,602	△ 4.7		95.7	—	0.7
7月末	6,075	△12.3		97.7	—	0.9
8月末	5,738	△17.1		97.8	—	0.8
9月末	5,620	△18.8		96.5	—	0.7
10月末	5,265	△24.0		93.0	—	0.7
11月末	6,476	△ 6.5		96.2	—	0.8
12月末	7,372	6.5		92.9	—	0.8
2021年1月末	7,533	8.8		—	—	—
2月末	7,496	8.2		—	—	—
(償還時) 2021年3月2日	(償還価額) 7,495.47		8.2	—	—	—

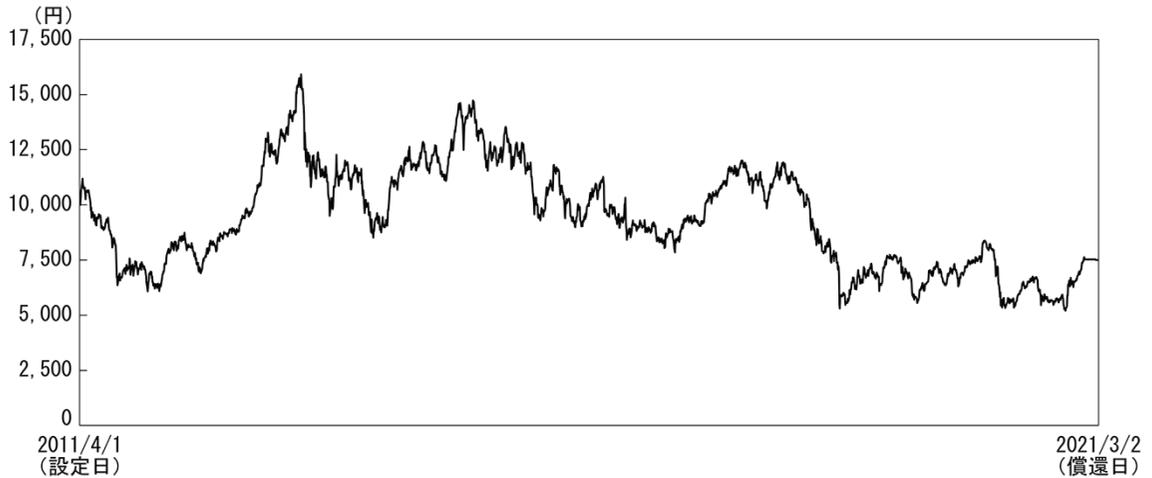
(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 株式先物比率=買建比率-売建比率。

(注3) 当ファンドは、トルコ株式を主要投資対象とします。株式への投資にあたっては、収益性、成長性、安定性等を総合的に勘案して銘柄選別を行います。当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

設定以来の運用経過（2011年4月1日（設定日）～2021年3月2日（償還日））

■ 基準価額の推移



設定日：10,000円
 償還日：7,495円47銭
 騰落率：△25.0%

■ 基準価額の主な変動要因

設定来の騰落率は-25.0%となりました。トルコリラが対円で下落したことが基準価額の押し下げ要因となりました。

■投資環境

2011年は、商品市況の調整を契機にグローバル株式市場が下落したことや、トルコの消費者物価指数の高止まりや経常収支赤字拡大に対する懸念に加え、隣国シリアの政情悪化、ギリシャ債務再編問題などの悪材料が重なり、軟調な展開となりました。

2012年は、1月末に、FRB（米連邦準備理事会）が超低金利政策を2014年後半まで継続すると示唆したことが好感され、上昇しました。その後は、トルコ国内の与信の伸びやインフレ率上昇の抑制、経常収支の赤字幅の縮小、米大手格付け会社のトルコ国債の信用格付けの引き上げなどを受けて上昇しました。また、世界的に金融緩和政策が打ち出されたことや、欧州債務懸念の後退なども好材料となり、年末にかけて当時の史上最高値を更新しました。

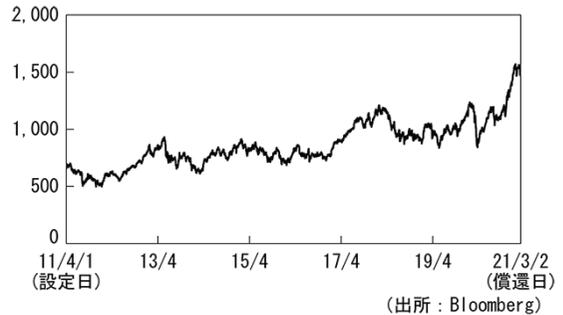
しかし、2013年5月下旬、FRBの量的金融緩和策の早期縮小懸念や、トルコのエルドアン政権への大規模な抗議運動が続いたことなどから、投資家のリスク回避姿勢が強まり、急落しました。その後も、トルコ中央銀行総裁による追加利上げ否定発言やシリア情勢の緊迫化などと相まって、トルコリラ、トルコ株式市場ともに更に下落しました。

2014年3月、トルコの統一地方選でAKP（公正発展党）が勝利したことを受け、政治的緊張の緩和期待などから上昇しました。その後も、トルコ中央銀行やECB（欧州中央銀行）による利下げ、原油価格の下落などを背景に、堅調に推移しました。

2015年は、ギリシャ債務再編問題の先行き不安や、トルコ政局の混迷懸念などを背景に下落しました。また、トルコ軍がロシア空軍機を撃墜したことを受け、ロシアがトルコに対し経済制裁を発令したことなども重石となりました。

2016年は、ECBの追加金融緩和政策の発表などを受け一時的に上昇しましたが、5月初め

イスタンブール100種指数の推移



為替レートの推移



にトルコのダウトオール首相の任期途中で首相職を辞任したことや、7月中旬に未遂に終わったもののトルコ軍の一部によるクーデターが発生したことなどから下落しました。また、11月には、トルコ警察当局がクルド系野党・HD P（国民民主主義党）の共同党首2人を含む同党の複数の国会議員を、トルコがテロ組織と認定している非合法武装組織「PKK（クルド労働者党）」の宣伝を拡散した疑いで拘束したことに加え、拘束直後に、トルコ南東部で大規模な自爆テロが発生したことなどから、トルコ株式市場は下落しました。

2017年は、4月に実施されたトルコの大統領権限を強化する憲法改正の是非を問う国民投票で賛成派が多数を占め、短期的な政治的不透明感が低下したこと、トルコ企業の堅調な決算発表や世界的な株高などに支えられ上昇しました。また、トルコ当局がエルドアン大統領と敵対する在米イスラム教指導者のギュレン師の支持者と接触したとして米総領事館に勤務するトルコ人職員を逮捕したことなどを理由に10月に停止された米国とトルコ間のビザの発給業務を、両政府が正常に戻すと発表したことなどから、年末にかけてさらに上昇しました。

2018年に入ると、エルドアン大統領が金融政策への関与を強めると発言したことや、トルコ中央銀行が市場の利上げ予想に反し7月の政策金利を据え置いたことで中央銀行の独立性が不安視されたこと、6月の大統領選挙では、現職のエルドアン大統領が再選を果たしたものの新内閣の国庫・財務相に娘婿のアルバイラク前エネルギー相を起用したことが嫌気されたこと、8月に米国人牧師の拘束問題により対米関係が悪化したことなどを背景に、トルコリラ、トルコ株式市場の下落が加速しました。2019年3月末に行われた統一地方選挙では、エルドアン大統領が率いるAKPを中心とした与党連合がトルコ全土の得票率で過半数を確保しました。しかしAKP側が求めていたイスタンブール市長選挙の無効とやり直しの決定を受け、トルコの政治プロセスに不信感が高まり、トルコリラ、株式市場ともに下落しました。その後は、原油価格の下落や、対米関係の緊張緩和期待などを背景に反発しました。

2020年に入ると、シリアとトルコの緊張の高まりに加え、アサド政権を支援するロシアとの関係悪化なども懸念され下落しました。さらに、世界中で感染拡大が止まらない新型コロナウイルスが世界経済に及ぼす影響への警戒感からリスクオフムードが強まる中、トルコリラ、トルコ株式市場ともに大きく下落しました。4月以降は、米国の経済活動再開への期待や、新型コロナウイルス向けのワクチン開発の進捗が良好であることを受けてグローバル株式市場が上昇する中、トルコ株式市場も上昇に転じました。しかし、トルコの外貨準備減少が懸念される中、トルコリラが売られ対ドルやユーロで史上最安値を更新したことなどを嫌気し、トルコ株式市場は下落しました。11月上旬、中央銀行総裁と財務相が交代し新体制となったことを受け、金融当局がトルコリラ安の是正に向けて動くとの期待感などから、トルコ株式市場、トルコリラともに大きく上昇しました。その後の金融政策委員会では、大幅な利上げとともに、金融政策の簡素化が発表されたことから、トルコ株式市場、トルコリラともに続伸しました。しかし、2021年2月下旬以降、米国の追加経済対策の成立期待や、新型コロナウイルスのワクチン普及に伴う景気回復期待などを背景に、長期金利の上昇（価格は下落）が続く中、利益確定の動きや、原油市場の大幅上昇を受けてトルコの経常収支が悪化するとの懸念が広がったことなどから下落に転じ期を終えました。

■当該投資信託のポートフォリオ

期を通して株式および外国投資証券の組入比率を概ね高位に維持しました。その後、当ファンドの償還決定を受けて、キャッシュ化を進めました。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、トルコ株式を主要投資対象とします。株式への投資にあたっては、収益性、成長性、安定性等を総合的に勘案して銘柄選別を行います。当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

<償還を迎えて>

当ファンドは、2021年3月2日をもちまして信託期間を終了し、繰上償還とさせていただくこととなりました。受益者の皆様のご愛顧に心より御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

○1万口当たりの費用明細

(2020年3月4日～2021年3月2日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料	6	0.096	(a) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(6)	(0.095)	
(投資信託証券)	(0)	(0.001)	
(b) そ の 他 費 用	53	0.836	(b) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用 信託事務の処理にかかるその他の費用等
(保 管 費 用)	(52)	(0.835)	
(そ の 他)	(0)	(0.001)	
合 計	59	0.932	
期中の平均基準価額は6,285円です。			

(注1) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2020年3月4日～2021年3月2日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	トルコ	百株 1,856 (△ 105)	千トルコ・リラ 1,562 (-)	百株 84,003	千トルコ・リラ 91,248

(注1) 金額は受渡代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) () 内は増資割当、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	トルコ	口	千トルコ・リラ	口	千トルコ・リラ
	IS GAYRIMENKUL YATIRIM ORTAK	—	—	184,384	272
	EMLAK KONUT GAYRIMENKUL YATI	—	—	277,000	668
	小 計	—	—	461,384	941

(注1) 金額は受渡代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2020年3月4日～2021年3月2日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	1,313,002千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	951,469千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.37

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注3) 邦貨換算金額は、各月末(決算日の属する月については決算日)の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

○利害関係人との取引状況等

(2020年3月4日～2021年3月2日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2021年3月2日現在)

2021年3月2日現在、有価証券等の組入れはございません。

外国株式

銘柄	期首(前期末)	
	株	数
(トルコ)		百株
AKBANK T. A. S.	7,681	
AKSA AKRILIK KIMYA SANAYII	1,380	
ANADOLU EFES BIRACILIK VE	574	
ANADOLU CAM SANAYII AS	4,330	
ARCELIK A. S.	690	
ASELSAN ELEKTRONIK SANAYI	893	
ENKA INSAAT VE SANAYI AS	1,897	
EREGLI DEMIR VE CELIK FABRIK	4,927	
FORD OTOMOTIV SANAYI AS	140	
KOC HOLDING AS	1,636	
KORDSA TEKNİK TEKSTİL AS	160	
MIGROS TURK TAS	290	
PETKIM PETROKIMYA HOLDING AS	2,804	
SODA SANAYII	2,058	
TURK SISE VE CAM FABRIKALARI	1,800	
TOFAS TURK OTOMOBİL FABRIKA	580	
TRAKYA CAM SANAYII AS	4,251	
TURKIYE SINAI KALKINMA BANK	12,738	
TURK TUBORG BIRA VE MALT	1,847	
TURK HAVA YOLLARI AO	2,430	
TURKCELL İLETİSİM HİZMET AS	3,084	

銘柄	期首(前期末)	
	株	数
(トルコ)		百株
TURKIYE GARANTI BANKASI		6,136
TURKIYE İS BANKASI-C		4,310
TUPRAS-TURKIYE PETROL RAFINE		339
ULKER BİSKUVİ SANAYİ		350
YAPI VE KREDİ BANKASI		4,600
YATAS YATAK VE YORGAN SAN. T		2,400
HACI ÖMER SABANCI HOLDING		2,633
COCA-COLA İCECEK AS		368
BİM BİRLEŞİK MAGAZALAR AS		1,062
TURKIYE VAKIFLAR BANKASI T-D		980
TAV HAVALİMANLARI HOLDING AS		457
TEKFEN HOLDING AS		360
TURK TELEKOMÜNİKASYON AS		1,430
ENERJİSA ENERJİ AS		498
MAVİ GİYİM SANAYİ VE TİCA-B		130
合計		82,252
	株 銘柄	数 数
		36

(注) 単位未満は切捨て。

外国投資信託証券

銘柄	柄	期首(前期末)	
		口	数
(トルコ)			口
İS GAYRİMENKUL YATIRIM ORTAK			184,384
EMLAK KONUT GAYRİMENKUL YATI			277,000
合計		口	461,384
	銘柄	柄	数
			2

○投資信託財産の構成

(2021年3月2日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 570,718	% 100.0
投資信託財産総額	570,718	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2021年3月2日現在)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	570,718,639
コール・ローン等	570,718,639
(B) 負債	1,438
未払利息	1,438
(C) 純資産総額(A-B)	570,717,201
元本	761,416,144
償還差損金	△190,698,943
(D) 受益権総口数	761,416,144口
1万円当たり償還価額(C/D)	7,495円47銭

(注1) 信託財産に係る期首元本額1,862,403,043円、期中追加設定元本額0円、期中一部解約元本額1,100,986,899円

(注2) 償還時における当マザーファンドを投資対象とする投資信託ごとの元本の内訳

ライジング・トルコ株式ファンド 608,420,358円

UBPトルコ株式ファンド 152,995,786円

(注3) 償還時における1口当たりの純資産総額 0.749547円

(注4) 償還時における元本の欠損金額 190,698,943円

○損益の状況 (2020年3月4日～2021年3月2日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	14,129,940
受取配当金	14,237,860
支払利息	△ 107,920
(B) 有価証券売買損益	38,453,488
売買益	300,811,722
売買損	△262,358,234
(C) 保管費用等	△ 8,107,158
(D) 当期損益金(A+B+C)	44,476,270
(E) 前期繰越損益金	△572,742,112
(F) 解約差損益金	337,566,899
償還差損金(D+E+F)	△190,698,943

(注) 解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

・2020年4月1日の委託者の名称等変更に伴い、委託者名および電子公告の掲載アドレスが変更となるため、信託約款に所要の変更を行いました(2020年4月1日)。